

3 252

本資料は外國發信局發信内容を其儘採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

外國宣傳情報 第五號

昭・一六・五・一六情報局

◎駐支米大使更迭と重慶政府

駐支米大使更迭に際し重慶側より出する放送は、日本の侵略政策究極の目的が中國と同時に大平洋、米大陸にあり、かくの如き世界の破壊者日本に對し中米兩國提携の緊密強化は一層必要切實なりと宣傳しおり

△重慶五月十二日 日本語放送

蔣委員長は十日夜ジョンソン大使の送別宴を開催したがその席上大體次の様な送別の辭を述べた。

ジョンソン大使は中國に約三十三年間在任され今回中國を離れられることになり誠に離別の情感に堪えないものがある、この機會に中米兩國が大平洋に利害を有するのみでなく和平保持の責任を有して居ることを述べたいのである、侵略者日本軍閥は我方が武力的に完全に準備されない時に侵入したが我方は犠牲を惜まず戦ひ來なつた、中國の抗戦に對し各國特に米國が同情を寄せられた事は感謝の外ない處である、日本外務省の機關紙であるジヤパン、アドバタイザ紙は四月三十日に世界和平提唱を掲げたが民國二十七年即ち昭和十三年十一月三十日に近衛が宣明した東亞新秩序と同様の意義のもので、之は米に對して大平洋の新秩序を宣布したもので、正に日本によつて共榮圈を建設するべきこと大平洋は全く日本の統治と歸すべきことを主張したものであつて日本の侵略政策、侵略計畫乃至は實際行動は中國を處分し更に米國を處分せんとして居るのでかくの如き野心が完全に暴露されたのである、この野心を粉碎すべく我等は既に四年に亘つて抗戦を續けて來たり日本の國力を消耗させ侵略計畫の實行を不可能ならしめた今日では日本軍閥は已むなく陰謀を之れ專とし、大平洋關係諸國を離間させ各個撃破の政策に出でてその侵略目的を達せんとして居るのである中米兩國は世界の破綻者日本軍閥打倒の爲めに益々提携を緊密にしなければならぬと思ふ願はくはジョンソン氏は歸國の際米國要路の人々にかくの如く御傳へ願ひ度いのである、云々。

### ◎ヘス獨副總統の失踪

ヘス獨副總統の獨逸脱出に關し英米側より出する放送は、戦局の困難化にともなふナチ黨内の紛糾、ヒトラー總統との見意不一致、ナチ政策に對する不満によるものにして、今後獨逸にこりて致命的影響を及ぼすべしと宣傳しあり

△ロンドン五月十三日 英語放送

ヘス獨副總統代理は十日ノツサシユミット機に搭乗してスコットランド上空に飛來し落下傘で地上に飛降りた着陸の際ヘス氏は足首を挫折した目下グラスゴウ病院に收容中である

今日米國通信員：氏は次の様なラジオ放送を行つた  
十八年前即ち一九二三年十一月九日ミュヘンのいはゆる「十一月革命」にヒトラー・ゲーリング・フリック等の同志と共に五ヶ年の處刑を受けて以來一九三三年ナチス政權獲得まで十年の苦闘を續け遂に總統代理に選任され獨戰時内閣の無任相を兼ねるに至つたヘス氏は今日ゲーリング大ドイツ元帥につぐナチス黨三番目の有力者であるヒトラー總統の片腕として有名なマインカンフを世に出す迄に多くの助力を與へた人である  
ベルリンからの報道によるとヘス氏は永らく病氣であつたこの事であるが約一ヶ月前へ

ス氏は頗る元氣で獨政府の代表としてスペイン政府を訪れてゐる又五月一日ドイツ飛行機製作所工場で従業員一同にさも愉快らしく元氣で一場の演説を行つてゐる處よりみるもヘス氏の失踪は何等かの理由あるものとみられてゐる、  
ワシントン官邊ではヘスの失踪についてバルカン戦争の損害が相當大きいものであつた爲め今後の戦局を背負ひきれずナチス黨内にも不平分子が出たものではないかとの噂もある何れにせよヘス氏の去つた事は大きな打撃を與へるものである云々

△桑港五月十三日 英語放送

獨總統代理ヘス氏が自ら飛行機を操縦して英國グラスゴー上空に飛來してバラシユットで降下し英官憲に收容された事件に關して其の後英國の放送によるとヘス氏は若し中立國に着陸してゐたら恐らくナチス黨員に射殺されてゐたであらうと、ヘス氏が精神に異状をきたしてゐたことドイツ側では發表してゐるが同氏の健康診断を行つた醫者の言葉によるとヘス氏は別段精神に異状ある者と認す健康状態であること

目下英官憲により秘密裡に或る場所に移され面會は一切許可されてない其の上嚴重な監視人が附されてあるロンドン方面でもヘス氏の失踪について種々噂されてゐるがヒドラー總統と意見の不一致が或は戦争遂行上現在のナチス政策に不満を抱き國を去つたのではないかとみられてゐるナチス政府ノ一首腦者を手に入れた事は英國にとつて非常な收獲であり

これによつて今後ヒトラーの戦争計畫或はドイツの内情は一切明白となるであらう現在元証獨英大使館一等書記官カークバトリック氏が面會し話を進めてゐる

獨大統領フーゲア反戦論を唱ふ

旧林五月十二日 獨語放送

獨米大統領フーゲア氏は昨日全米國民にラジオ演説を行ひ、ルーズベルト及其一派の無謀な参戦計畫に辛辣な警告を與へた、氏は米國が参戦すれば自國防衛力を缺き却て援英は不可能となり、米國が獨逸を敵にして戦ふ丈けの準備を爲すには軍備、産業に尙十ヶ年の歳月を要し到底勝味はなく、英米共に滅ぶ他なきを力説した。  
又トビー上院議員も反戦論陣を張りリンバーク大佐の主張を支持してゐる